多様な分野で社会の課題に挑み続ける卒業生

記者にとって大切な、
足で情報を稼ぐ力が身についた。

記者として事件・事故現場に足を運び、取材した情報をもとにニュースの原稿を書いたり、リポーターとなって生中継をしたりと、皆さんが目にするニュース番組の制作に携わっています。スポーツ選手、知事や市長などいろいろな人との出会いがあり、やりがいのある仕事です。モットーは、とにかく足で情報を稼ぐこと! 物事の真相に近づくためには、事故の第一発見者や、事件の背景を知る関係者の話など、現場を走り回って情報を手に入れることが大切です。総合政策学部のリサーチ・プロジェクトで、専門家に会いに行って情報収集したり、企画したプロジェクトを実施したりといった「自分でやってみる」経験が、現在の仕事に生きています。

名古屋テレビ映像
（名古屋テレビ放送 報道部 記者）

近藤 翔 2019年3月卒業　愛知県立豊野高校出身

2020年卒「法学、政治・政策（政経学部含む）」系学部就職率
全国5位※
※東洋経済「本当に強い大学2021」

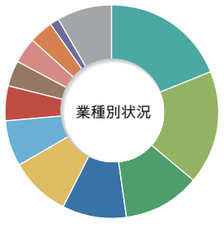
就職に強い! 愛知学院大学の総合政策学部

公務員をはじめ、幅広いフィールドで活躍

卒業生は流通・製造・サービス・金融など多彩な業界へ進出。公務員の実績も堅調です。本学部独自の教育成果が高く評価され、毎年高い就職率を維持しています。

安定した就職実績

就職決定率（過去3年間）	2018年度	2019年度	2020年度
	98.9%	99.0%	97.6%



（2020年度から過去3年間）

商社（卸売）	18.9%
流通（小売）	17.3%
メーカー	11.8%
建設・不動産・レンタル	9.5%
金融・保険	9.2%
情報・通信	7.1%
運輸	5.1%
公務員	4.1%
医療・福祉・教育	3.9%
ホテル・観光・サービス	3.4%
各種団体	1.4%
その他	8.3%

卒業生の主な就職先一覧（2020年度から過去3年間）

公務員
名古屋市役所
尾張旭市役所
湖西市役所
瀬戸市役所
御前崎市役所
警視庁
愛知県警察本部
静岡県警察本部
岐阜県警察本部
豊橋市消防署
防衛省自衛隊 ほか

情報
セガ
日本情報
ミロク情報サービス
ホロンシステム
トリオシステムブランズ
システムジャパン
システムリサーチ
日本電子計算 ほか

金融
三十三銀行
富山第一銀行
中京銀行
名古屋銀行
日本郵政
中日信用金庫
浜松磐田信用金庫
豊田信用金庫
豊橋信用金庫
東海東京証券
岡三証券
明治安田生命保険
第一生命保険 ほか

製造・商社
中北薬品
バナケイア製薬
敷島製パン
クリナップ
河村電器産業
アイシン機工
八神製作所
フジバングループ ほか

サービス
東海旅客鉄道
日本貨物鉄道
近畿日本鉄道
名古屋鉄道
西濃運輸
東陽倉庫
エイチ・アイ・エス
リゾートトラスト
イオンリテール
名古屋テレビ映像
浜松商工会議所
文溪堂
リコージャパン
資生堂ジャパン
瀧定名古屋
キャッチネットワーク ほか

その他
日本年金機構
静岡県信用保証協会
あいち中央農業協同組合
熊谷組
住友不動産販売
セキスイハイム中部 ほか

愛知学院大学
AICHI GAKUIN UNIVERSITY
〒470-0195　愛知県日進市岩崎町阿良池12
愛知学院大学入試センター　TEL.0561-73-1111（代）
http://www.agu.ac.jp　E-mail:nyushi@dpc.agu.ac.jp

Department of Policy Studies
総合政策学部 総合政策学科

愛知学院大学
AICHI GAKUIN UNIVERSITY

このまま見過ごすわけにはいかない。

だけど、どこから手をつけたらいいのかわからない。

そんな難しい問題が、あなたの身の回りにもあふれていませんか?

総合政策学部は、複雑に見える社会問題を解きほぐし

データを活用して、問題の原因を突き止め、解決策を導き出し

人々を巻き込んで解決のために行動できる人を育てる学部です。

今こそ求められる総合的な問題発見・解決能力を発揮して

社会にどんどん貢献していける人に成長することができます。

広大な社会問題の海に飛び込む人に——。

必要な能力が着実に身につく総合政策学部のカリキュラム

1年次　2年次　3年次　4年次

「技術」を養う 4つのリテラシー科目

入学直後から始まる科目群で、
問題の発見・分析・共有に必要な技術を習得します。

- **情報リテラシー**
  必要な情報を収集・選択する技術
- **リサーチリテラシー**
  社会調査や統計の知識・技術
- **言語リテラシー**
  日本語や英語で意思を伝える技術
- **プランニングリテラシー**
  論理的思考や企画提案の技術

エビデンス(根拠)を示せる人に!

NEW **データサイエンス・リテラシー認定証**

データ活用に関する科目履修や資格取得など、
条件を満たした学生に認定証を発行します。

導入科目
総合政策概論

各クラスターの学びを見わたし、専門分野を早く決めるためのヒントを提供します。

「専門性」と「視点」を養う 6つのクラスター(専門科目群)

自分で選択したクラスターの知識を深めながら、
他分野も学んで総合的な視点を養います。

- **政治・行政**
  心豊かに暮らせる社会のありかたとは
- **経済・環境**
  経済活動と環境負荷軽減を両立させるには
- **国際**
  グローバル社会で生きる思考力や発信力を
- **社会・文化**
  人間生活の基盤となる地域の課題を考える
- **情報・メディア**
  情報を生かしたコミュニケーション力を
- **人間科学**
  健やかな生き方を心理面・健康面から支援

● 幅広い選択肢と専門研究者の充実

経済学・政治学から心理学や現代芸術論まで、選択できる専門分野の豊富さが強み。
どんな疑問や関心にも各分野の専門研究者が応えます。

「行動力」を養う、4年一貫のリサーチ・プロジェクト

問題発見・解決のトレーニングを4年間にわたって繰り返し、行動力・実践力を身につけます。

P.03

問題は大学の外にある!

NEW **地域の人々とともに考え行動する社会参加プログラム***

近隣地域(日進市・長久手市)の市民や行政と協働し、身近な社会問題に取り組む科目です。
例) 一人親・若年夫婦への子育て支援／外国人が地域コミュニティに適応する上での課題

自己プロデュース力を養うキャリアデザイン科目

1年次から始まる学部独自のキャリア教育。早期から自己と向き合い、就職やキャリア形成に対する意識を高めます。

P.05

＊2023年度の本格開講に向け、2022年度は試験的に開講。

リサーチ・プロジェクト

4年間を通じた
問題発見・解決の実践トレーニング

リテラシー科目やクラスター科目で学んだ技術・専門性・視点をフル活用して、問題発見・解決を繰り返し行う4年一貫のプロジェクト科目です。
文献調査やヒアリング調査などにより身近な社会問題をリサーチし、グループ討論で効果的な解決策を立案、実際に問題解決に取り組みます。

1年次　リサーチ・プロジェクトⅠ
情報収集や討論の技法を、グループワークを通して身につけます。学外での調査活動も行います。

2年次　リサーチ・プロジェクトⅡ
春学期と秋学期でそれぞれ異なる教員の指導を受けながら、複数のプロジェクトを経験します。

3年次　リサーチ・プロジェクトⅢ
自分で決めた専門分野に関わる教員の下でプロジェクトを実践し、問題発見・解決能力を磨きます。

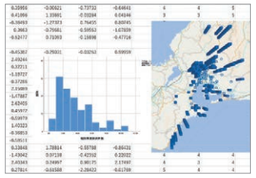
4年次　リサーチ・プロジェクトⅣ
3年次までのプロジェクトで発見したテーマに基づいて研究を深め、卒業論文にまとめ上げます。

CASE 01

データ分析の力で
地方創生を検証する

浅岡 優奈
3年　愛知県立鶴城丘高校出身

磨き上げた統計解析スキルで、地方自治体の課題を解明。



高校では情報技術を学び、大学入学後は地方自治体の仕事に関心が芽生えました。中村先生のプロジェクトを選んだのは、データサイエンスを活用して自治体の課題が学べると考えたからです。3年の夏休みには名古屋大学など行政学9ゼミが集う合同ゼミを控え、現在はその準備に追われています。また、先生の勧めで受講している「データ分析Ⅱ」では統計解析ソフトSPSSを、先生がお昼休みに開講されている勉強会ではPythonによるプログラミングを学習中。東海4県の全市町村を対象にしたアンケートの集計に役立てるつもりです。

高校時代
情報システムコースで身につけたPCスキルが地域問題の解決に生かせると、オープンキャンパスで説明を受け、入学を決めました。

1年
近隣地域の企業を訪問し、男性社員の育児休暇取得の現状を調査するなど、女性の社会参加を促す方策を考えました。

2・3年～
WEB制作プロジェクトと自治体の子育て支援策を立案するプロジェクトに参加。今後は地方からの若年女性の流出問題について研究する予定です。

アンケート調査だけでなく、
市町村へのヒアリングも行います。

●リサーチ・プロジェクトⅢ
市町村の行政改革・組織改革　中村 悦大 教授

秋学期には、「地方創生」という国の政策に対する東海4県160市町村の評価を、アンケート調査する予定です。学生とともにデータ解析することで、市町村の規模や財政状況と政策への評価の相関関係など、おもしろい結果が見えてくると期待しています。

CASE 02

社会参加を通して
里山問題を解決する

杉本 樹紀
3年　福井県立鯖江高校出身

地域資源を有効活用し、地域に活気を生み出すアイデアを。

日本中の里山が抱える問題の一つに、竹林が増殖して植生を荒らす「竹害」があります。2年次春学期のリサーチ・プロジェクトではこの解決に取り組みました。村田先生から紹介された市民団体「赤池まち灯りプロジェクト」に協力し、日進市赤池地区で伐採した竹を活用するイベントに参加。竹の灯籠「竹あかり」制作のワークショップを行い、地域資源を活用するだけでなく、観光客と市民が交流してまちに活気を生み出すアイデアを学びました。この活動をきっかけに、3年になった今も、日進市の活性化イベントに関わっています。

高校時代
地元の観光プロデュースコンテストに出場したことで、地域の課題を発見し、活性化の方法を考える楽しさを知りました。

1・2年
1年次の夏、村田先生と福島県の被災地を調査。人々の話を聞き、まちの空気を体感したことで、報道だけではわからない現実が見えてきました。

3年～
観光や移住者をテーマに地域の課題を考察。将来は出身地の福井県池田町でまちづくりに携わることも視野に研究を進めます。

まずは教室の外に出て、
人と出会うことから始めませんか？

●リサーチ・プロジェクトⅢ
まちづくり・ひとづくり ～「まち」に飛び出して考えよう～　村田 尚生 准教授

地域コミュニティが衰退し、人と人、人と自然の関係が薄れたことで、さまざまな問題が起きています。これからを担う一人ひとりが、どのように社会貢献し、自己実現していくのか、市民活動やNPO活動、住民参加によるまちづくりの実践を通して考えます。

ほかにも多彩なプロジェクト

文化　小説や映画の創作・研究、男女共生問題の研究
指導教員 岩田 和男 教授

国際　グローバル化に伴う様々な問題と言語やアイデンティティとの関わり
指導教員 竹田 真紀子 講師

心理　社会心理学 ～日常生活の疑問を心理学的に解明する～
指導教員 太幡 直也 准教授

教育　持続可能な社会のための生涯にわたる教育・学習活動
指導教員 榊原 博美 教授

1年次からスタートする学部独自のキャリア教育。

キャリア・デザインを通して、目標達成のための行動力を身につける。

学部独自の多面的な学びでキャリアをデザイン。

入学直後から考えるキャリア・ビジョン

早い段階で自分の将来を展望することで、大学生活はより有意義なものになります。1年次の必修科目「キャリア・デザイン」では、目標設定や自己分析、自己表現の手法を身につけ、就職活動はもちろん、あらゆる目標に向けて的確に行動できる人に成長できます。

「キャリア・デザインⅠ」の流れ

- **自己分析**　自分を客観的に見つめ、強みや興味を知る。
- **情報収集**　多様な業界・職種・働き方の情報を集める。
- **意見交換**　他者と意見を交わし、社会への視野を広げる。
- **将来像**　自身のキャリア・ビジョンを考える。

社会を見て職業を知る豊富な機会

働く人の現場を知る「インターンシップ」

企業や公的機関での就業体験を通して「働くこと」の意義を学びます。事前研修・訪問・事後の報告会を実施し、キャリア・ビジョンを明確にします。

働く卒業生の声を聞く交流会の開催

多彩な分野で社会に貢献する卒業生の話を聞く機会を数多く設けています。総合政策学部の学びや経験を生かしたキャリアの実現方法を考えます。

リサーチ・プロジェクト 担当教員による密接なサポート

4年一貫のリサーチ・プロジェクトでは、担当教員が学修指導から進路相談まで的確に対応。学生の適性や興味関心を見極め、進路にふさわしい科目の履修や、効果的な学習方法を提案します。また、すべての教員が連携し、学部全体で学生一人ひとりの成長を見守ります。

キャリアセンターとの連携による手厚い就職支援。

学部担当制の細やかなキャリアサポート

キャリアセンターによるサポートは学部担当制です。総合政策学部の特長をよく知る専任スタッフが、学部の学びや経験を最大限生かせる就職支援を行います。

公務員対策講座をはじめとする多彩なプログラム

学年別・職種別の公務員試験対策講座、志望業界・企業の傾向に合わせた面接対策講座など、自由に選択できる就職支援プログラムが豊富です。

- ・公務員試験対策講座
- ・学内合同企業説明会
- ・アスリート向け就職対策
- ・就職ガイダンス
- ・面接対策講座
- ・警察・消防との連携講義 ほか

データサイエンス・リテラシー認定証

調査を通してデータを収集したり、データ分析によって得た情報を活用する能力が、現代社会のあらゆる分野で求められています。こうした能力を身につけた学生であることを総合政策学部が保証する「データサイエンス・リテラシー認定証」を発行しています。

不安なことは先輩アシスタントに相談してみよう!

ラーニング・アシスタント（LA）

1年次必須科目「リサーチ・プロジェクトⅠ」に、既に履修を終えた上級生が参加。文献の調べ方、レポートの書き方、効果的なプレゼン技術などをアドバイスします。

スチューデント・アシスタント（SA）

情報教育施設「情報コントロールルーム（ICR）」に学生が常駐し、機器やアプリの使い方を指導。ICRで開講される授業の補佐も務め、学生の疑問に答えます。

Message

瀬戸市役所 健康福祉部

後藤 聡一郎

2021年3月卒業

愛知県立高蔵寺高校出身

センター職員の励ましで就職活動に自信が持てた。

3年次のインターンシップで、瀬戸市役所の雰囲気の良さに惹かれたことが進路の決め手に。就職活動でくじけそうなとき、キャリアセンター職員の方に「自分の人生だから逃げてもいいよ。でも、後悔しない選択をした方が幸せになれるよ」と励ましていただいたことで、不安を払拭できました。リサーチ・プロジェクトで地域の人々と交流した経験は、面接でのアピールに役立っただけでなく、今後の仕事の手助けになると感じています。

Dialogue for the FUTURE

社会と自分の未来をつくっていく力

より良い社会をつくる力。それは、自分の未来を切り開く力にもなります。
この学部の魅力や得られる力について、二人の学生に聞いてみました。

浅井 美玲奈

2年　愛知県立刈谷高校出身

「広く学んだ上で自分の専門分野を決めたい」と考えて入学。2年春学期のリサ・プロでは、マンガや映画に見られるジェンダーの問題を研究中。

國保 龍二

4年　愛知県立中村高校出身

“政策系”に関心を持って入学。3年次からは社会心理学を専攻し、部活動の継続意思を心理学的側面から研究。2022年、日産プリンス名古屋販売株式会社に就職予定。

少人数だから全員が役割を担い、行動する中で力が養われていく。

浅井　1年次のリサーチ・プロジェクト（以下「リサ・プロ」）では新型コロナの問題についてグループで議論し、意見をまとめて発表する機会があり、私がリーダーを務めました。高校で行うグループワークは、先生の指示の下、授業時間内に終わりますが、リサ・プロの議論は授業時間外に自発的に集まって行います。スケジュール調整が難しい上、積極的な発言が飛び交うので、まとめるのは本当に大変! でも振り返れば、良い経験ができたと思います。鍛えられました。

國保　1・2年次のリサ・プロは、5人程度の小グループで行動することが多いから、リーダー以外にも全員が何かの役割を担います。だから全員が目標達成の喜びを味わえるし、社会人に求められる力がいつの間にか育っていきます。専門分野の知識に加え、情報を収集・整理する力、コミュニケーションやプレゼンテーションの力、それに積極性や協調性といった「ジェネリック（広く役立つ）スキル」が身についたと感じています。

学修・研究にも卒業後の進路にも深く関与してくれる先生方。

浅井　社会人になると、問題を見つけて解決する力が求められると考えて、私はこの学部を選びました。実際に学んでみると、リサ・プロだけでなく講義科目でも問題解決能力が養われる実感があります。自分なりの解決策を問われる授業が多いんです。私にとって総合政策学部の授業は、「受ける」というより「つくり出す」イメージです。

國保　私がこの学部を選んだのは、一つの問題に多角的に迫ることができると考えたからです。1・2年次は政治・経済を中心に学んだけれど、3年次のリサ・プロ（専門ゼミ）は社会心理学に切り替えました。学部の専門分野が広いからできたことなのですが、その時点では社会心理学の専門知識が少し足りなかったことも事実。するとリサ・プロの先生が「この科目を履修するといいよ」とアドバイスしてくださり、その後の研究活動に役立てることができました。

浅井　私も現在所属しているリサ・プロで同じ経験をしました。先生の親身な対応はこの学部の特長ですよね。

國保　学修や研究はもちろんだけど、進路選択や就職活動についても的確な助言をいただきました。おかげで就職先も決定し、来年の春からは学部で培った力を発揮して社会で活躍します。

浅井　おめでとうございます! 次は、お仕事の話も聞かせてくださいね。